

## 看護師のクリカルラダー(日本看護協会版)を活用した教育計画

表1 看護師のクリカルラダー(日本看護協会版)学習段階

レベル	定義
I	基本的な看護手順に従い、必要に応じて助言を得て看護を実践する
II	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する
III	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する
IV	幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する
V	より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択し QOL を高めるための看護を実践する

表2 看護実践能力の核として必要な4つの力

4つの力		
1	ニーズをとらえる力	ケアの受け手をとらえ、判断し、その人に適した方略を選択する
2	ケアする力	ケアの実施・評価を行う(PDCA サイクルや看護過程の展開)
3	協働する力	ケアの受け手を中心に、情報やデータを他職種間で共有し、ケアの方向性を検討、連携する
4	意思決定を支える力	ケアの受け手が立ち会う場面(治療、最後の迎え方等)において、その人らしい選択ができるための意思決定を支える

表3 研修センター研修の枠組み (平成30年度研修プログラム関連図P6-7参照)

	枠	学習段階					
		I	II	III	IV	V	
継続研修	看護実践能力研修	ニーズをとらえる力					
		ケアする力					
		協働する力					
		意思決定を支える力					
	応じた研修 看護師のキャリアに	自己教育・研究能力	・「生活」と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護の普及に向けた継続教育				
		組織的役割遂行能力	・クリカルラダーと連動した継続教育 ・専門能力開発を支援するための教育体制の充実に向けた継続教育				
		看護管理者	・地域包括ケアシステムを推進するための力量形成に向けた継続教育				
		資格認定	・認定看護管理者教育課程				
その他の研修	県受託研修						